

# 共 架 工 事 基 準（カーブミラー）

## 1 適用範囲

この共架工事基準（カーブミラー）は、中部電力パワーグリッド株式会社（以下、「当社」といいます。）の電柱に、当社所定の共架契約約款の定めに従うことを確約した共架者が所有するカーブミラーを共架する場合の工事に適用するものとします。

## 2 関係法令の遵守

共架者は、共架工事の実施にあたり、この工事基準のほか電気設備に関する技術基準を定める省令、電気設備の技術基準の解釈（以下、「電技解釈」といいます。）、道路法およびその他の関係法令を遵守するものとします。

## 3 共架物件

### （1）共架物件の種類

共架物件は、カーブミラーおよびその付属機器とします。

### （2）共架物件の設置数

共架電柱に共架できる共架者のカーブミラーは、共架電柱 1 本あたり 2 面までとします。

## 4 離隔距離

共架者は、共架者が施設する共架物件と、当社所有の特別高圧配電線、高圧線、低圧線、変圧器および通信線に対して、次の離隔距離を確保するものとします。

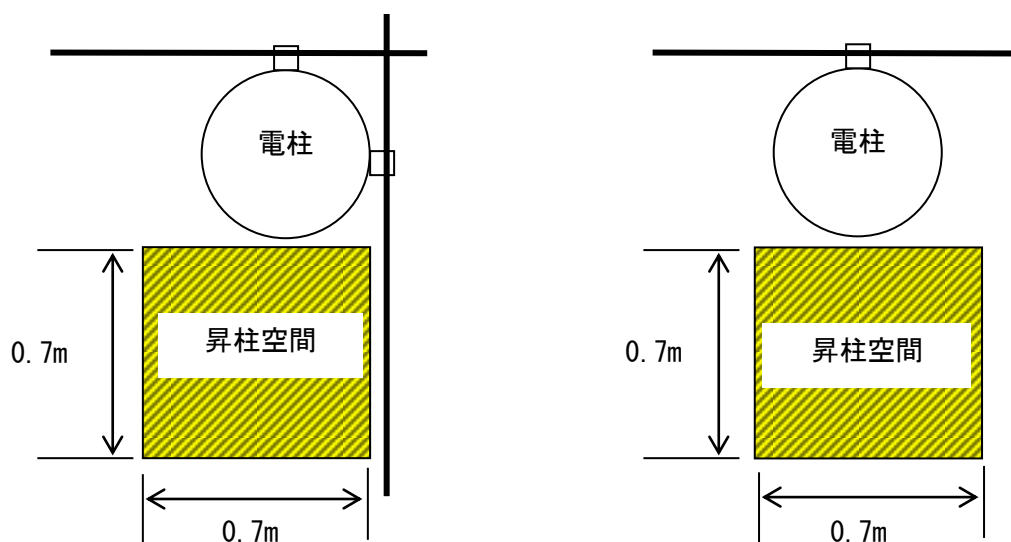
当社所有の設備		当社所有の設備が施設された共架電柱の取付点
特別高圧配電線		2． 0 m以上
高圧線	絶縁電線	1． 0 m以上
	ケーブル	0． 5 m以上
低圧線	絶縁電線	0． 6 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0． 3 m以上
低 圧 引込線	絶縁電線	0． 3 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0． 1 5 m以上
	特別高圧絶縁電線	
変圧器底部		0． 6 m以上
通信線		0． 3 m以上

（注 1）本表は、共架者の承諾を得た場合の離隔距離を示す。

## 5 昇柱空間の確保

共架者は、共架物件の施設において、底辺を一边 0． 7 mの正方形とし、共架電柱に沿って地表面から共架者の最上位の共架位置までの直方体の昇柱空間（図 1 参照）を確

保するものとします。



〔図 1〕

## 6 共架物件の施設方法

共架電柱における共架物件の施設方法は、次によるものとします。

- ① 共架物件は、以下の共架電柱には施設できないものとする。
  - ・ ケーブル立ち上がり柱
  - ・ S V R 等の電圧調整器柱
  - ・ その他当社の指示する柱
- ② 共架物件は、4（離隔距離）および5（昇柱空間の確保）を満足し、かつ他の共架設備および電柱広告等に支障を及ぼさない位置に施設する。
- ③ 共架物件は、道路法等で規定される最低地上高以上、5．2 m以下の地上高に施設する。
- ④ 共架物件は、当社の作業者の電柱昇降および作業等に支障とならないように、共架電柱表面から1．0 m以下の範囲内に施設する。
- ⑤ 共架物件の工事施工においては、材料、工具類の落下防止措置を確実に実施する。

## 7 標 識

共架者は、カーブミラーに、共架者の名称またはマークの入った識別可能な標識を取り付けるものとします。なお、当該標識は、十分な視認性と耐候性を有するものとします。

## 8 安全確保

共架者は、当社所有の足場ボルトの機能を妨げないよう、足場ボルトと共架者所有の共架物件との垂直距離15cm以上を確保して施設するものとします。

共架者は、共架工事の施工にあたって、公衆保安を確保するとともに、当社の設備お

よび他の通信設備等に損傷を与えないこととします。

以 上